

2009年2月27日

関係者 各位

財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
ロードレース委員会
技術委員会

2009年度 国内競技規則書 訂正と追加について

本年度、ロードレースの競技会において適用される国内競技規則書発行後、規則の「訂正・追加・規則施行時期」を以下のとおり改訂とします。

今回の全日本選手権関連の規則改訂については、世界的な経済不況のあおりを受け、「全日本ロードレース選手権」の運営についてエンタラントおよび主催者、サプライヤーなど関係者の経費負担削減を目的に、規則および運営の改定を行います。

改定の内容は、国内競技規則書と合わせて比較およびご確認ください。

< 競技運用規則関連 >

- 1) 全日本選手権 レースウィーク（木曜日の特別スポーツ走行と金曜日のART走行）および賞典に関する変更点

・特別スポーツ走行について

訂正箇所：付則5 全日本ロードレース選手権大会特別規則（p99）3-3-1項

訂正内容：規則の変更（特別スポーツ走行日の変更）

3-3-1 全日本選手権は下記、基本スケジュールに基づき日程で開催される。
月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手の走行は禁止とされる。・・・省略
ただし、特別な事情によりMFJロードレース委員会・プロモーション委員会が認めた場合は、ART走行または特別スポーツ走行が認められる。

大会	特別スポーツ走行日	大会	特別スポーツ走行日
第1戦 筑波大会	4月2日	第3戦 オートポリス	5月21日
第4戦 SUGO大会	8月27日	第7戦 MFJGP 鈴鹿	10月29日

・木曜日の特別スポーツ走行について、第1戦 筑波大会のみ「マシンのセットアップおよび練習時間の確保のため」に開催し、他の大会については、エンタラントのコスト削減を目的にキャンセルとする。

・金曜日の走行（ART走行）について

金曜日の走行は、2回走行のうち、どちらか1回目を有料スポーツ走行に変更し、残りの走行をART走行（走行料金無料）として開催する。

有料走行については、ART会員と非会員での別料金設定を行う。

・賞金について

大会賞金総額を見直し、同時にクラスごとの参加台数に応じた台数変動制を採用する。

詳しくは、大会特別規則または公式通知で公示される。

2) MFJ グランプリ GP-MONO クラスの参加資格期日の変更

訂正箇所：付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 (p 100) 4-3 項

訂正内容：規則の変更 期日 6月28日を 8月9日に変更

4-3 最終戦 MFJ グランプリは出場者に下記の条件が設定される。

GP-MONO クラス

エントリー数の上限は予選 1 組の最多予選出走台数とし、以下の優先順序で決定する。

鈴鹿サーキットで開催される地方選手権当該クラス上位 3 名 (繰上げは行わない)

時期は、~~6月28日~~ 8月9日時点のランキングをもとにする

3) MFJ グランプリ GP250 クラスの開催について

訂正箇所：付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 (p 100) 3-5-3 項

訂正内容：規則の変更 MFJGP における GP250 クラスの決勝 2 レースの決定

3 - 5 - 3 オートポリス大会

第 4 戦オートポリス大会時に FIM アジアロードレース選手権 (SS600、アンダーボーン) が併催されることから、大会 3 日制および同大会で GP250 クラスは開催されない。

但し、GP250 クラスは、最終戦 MFJGP にて 2 ヒートレースを検討中、決定次第ライディング・ホームページで公示する。

最終戦 MFJ グランプリ (鈴鹿サーキット) において GP250 クラスの決勝 2 レース制の開催が決定した。

・ 出場資格は、付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 (p 100) 4-3 項が適用される。

・ ポイント付与

決勝 2 レースのため、以下の方法でポイントが付与される。

1) 決勝 2 レースの場合のポイントは、レースごとに規定のポイントが与えられる。

2) MFJ グランプリ大会は、規定のポイントに 3 点加算される。

4) JSB1000 クラスの予選方式とタイヤ使用本数の改定について

訂正箇所：付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 (p 106) 22-2-3 項

訂正内容：規則の変更 (撤廃) ノックアウト予選方式の追加タイヤ

22 - 2 JSB1000

~~22-2-3 ノックアウト予選方式の追加タイヤ~~

~~ノックアウト予選方式の最終セッションの進出者を 12 名以内とし、この最終セッション進出者は、追加のタイヤ 1 セットが認められる。~~

~~但し、この追加されたタイヤは、その最終セッションに限り使用が認められる。~~

タイヤ使用本数 3 セット以外に、ノックアウト予選方式の第 3 (最終) セッション参加者 12 名に認められる「追加 1 セットタイヤ」を廃止しコストの削減を行う。

ノックアウト方式 フォームの統一化



5) ST600 クラスのタイヤ使用本数の改定について

訂正箇所：付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 (p 106) 22-1-1 項

訂正内容：規則の変更 二重線部分を削除し、アンダーライン部分の追加および図表

ST600 22 - 1

22-1-1

~~タイヤの使用本数制限が設けられ、予選・ウォーミングアップラン・決勝を通じ 3 セットのみ使用することが認められ、定められた時間にマーキングされる。~~

タイヤは、予選・ウォーミングアップラン・決勝を通じ、使用本数が定められ、タイヤマーキングを受けなければならない。使用本数は、大会ごと、予選回数に応じて設定され公式通知にて発表される。

なお、マーキングしたタイヤの変更は認められない。

ただし、MFJ 公認ウェットタイヤは、マーキングの必要なく使用することができる。

予選走行が1回の場合の使用本数(ウォーミングアップ、決勝含む)	2セット
予選走行が2回の場合の使用本数(ウォーミングアップ、決勝含む)	3セット

< 技術規則関連 >

6) ST600 クラス技術仕様の改定

訂正箇所：付則 9 ST600 技術仕様 7-3-6-7 (p151)

規則発行後の訂正 アンダーライン部分 追加

ブレーキパッドスプリングの取り外しおよび加工は認められない。

ピン付のパッドピンを使っている場合は ピンにワイヤーロックをしなければならない。

ピンの交換は許可される。

7) JSB1000 クラス技術仕様の改定

訂正箇所：付則 8 JSB1000 技術仕様 7-13 燃料タンク 7-13-1 (p134)

規則発行後の訂正 語句の削除

7-13-1 公認車両時の燃料タンクを改造または交換することができる。側面からの外観形状は、ノーマルと同じでなければならない。ただし、燃料タンクの材質は、カーボンファイバー、アラミド・ファイバー、またはファイバークラス の材質 の使用は許可されない。

訂正箇所：付則 8 JSB1000 技術仕様 7-24-2-3 フロントスプロケット (p137)

規則発行後の訂正 二重線の削除とアンダーライン部分 改定

7-24-2-3

~~逆シフトにする際に、フロントスプロケットガードが干渉する場合、最小限のカットが認められる。~~

フロントスプロケットカバーを取り付けるためのカバーと取り付けボスの最小限の改造は認められる。 但し、本来の機能が果たせなくなるようなカットは認められない

以上、国内競技規則変更は、2009年2月27日より施行される。

この規則変更は、MFJのホームページおよびMFJライディングにて告知される。